

ALHΘEIA

電子版化と図書館／米津宏雄	1
はじめて図書館を利用する人のために	2
Information 電子ジャーナルを活用しよう！	6
平成16年度図書館利用に関するアンケート結果	8

電子版化と図書館

米津 宏 雄

論文誌の電子版化は広く行き渡ってきた。研究室の学生は、自分の机の上のパソコンで論文を探し、読んでいる。関連する論文もキーワードの検索で即座に見つかる。その論文もパソコン上で直ちに読める。図書館で、メモした巻、号、頁をたよりに論文誌を書架から下し、机で広げて該当頁を探す手間は要らない。

確かに便利であり、目的の論文にたどりつくのは速い。しかし、学生にもよるが、話をしていると何か違う感じが時々する。その論文誌に載っている親戚筋に当たるような論文を知らないことが多いのである。キーワード検索で目的の論文に素早くたどりつけることの裏の面は、道草をしないために周囲を知らないことのように思える。いわゆる蜻蛉現象である。勉学・研究も一朝一夕には高いレベルにたどりつけない。周囲を見渡して、自分の今いる位置を確かめながら目標に向かって歩を進めるのが常道である。

この道草をしながら学ぶ格好の場として、図書館がある。本学図書館の静かな広い空間と窓の外に広がる広い芝生は、雑事を忘れさせ、落ち着いて学ぶことができる。紙版の論文誌をペラペラめくるのは、道草に

は好適である。しかし、パソコンに慣れ親しんでいる世代には、紙版はめんどうかもしれない。そうであれば、図書館に備えられているパソコンを使用してペラペラやるのもよい。研究室のパソコンで即座に論文を探して読む利便性と道草をしながら学ぶ余裕を、学生諸君をはじめ自分自身も含めて是非とも併せ持ちたいものである。

一方で、この電子版化には経済的に悩ましい問題がある。欧米の大手出版社による寡占化が進んでおり、購入価格が年々上がる傾向にある。また、過去の論文に逆上ろうとすると、年代が古くなるにつれて費用がかさむ仕組みが採られている。これらに対して即効性のある対策は見出されていない。

大学の図書館は、情報図書館の色彩を一層強くしていく流れの中にある。独法化によって特徴ある大学への傾斜が強まる中で、各図書館もそれぞれ特徴ある書籍と論文誌を有するようになっていくであろう。そうした中で、各図書館の連携を強化していくことにより、図書館の機能がより一層充実していくことを期待したい。

(附属図書館長)

はじめて図書館を利用する人のために

情報図書課

図書館の開館時間

この図書館は24時間利用することができます。開館時間は、職員が対応している通常開館と、職員がいない特別開館になっています。

月曜日～金曜日	通常開館	9:00	～	20:00
	特別開館	20:00	～	8:30
土曜日	通常開館	13:00	～	17:00
	特別開館	17:00	～	12:30
日曜日・祝日	特別開館	0:00	～	24:00

*春・夏・冬期休業中、年末年始等は開館時間に変更になります。時間の変更は掲示等でお知らせします。

図書館の入館方法

[通常開館]

正面玄関からロビーまで自由に出入りできます。閲覧室への入室は、学生証、身分証明書（以下IDカード）等が必要です。IDカードを入館ゲートに読み取らせバーを押して入館してください。

[特別開館]

IDカードとパスワードを使って特別開館専用入口から入館します。特別開館時間帯の利用方法及びパスワードについては、4月に行われる「図書館利用ガイダンス」で説明します。閲覧室への入室については、通常開館時と同じです。

資料の貸出・返却方法

[貸出]

IDカードと借りたい資料をカウンターに提示してください。図書自動貸出返却装置(ABC)がカウンターの前に設置してありますので、自分で操作し借りることもできます。視聴覚資料は、カウンターに提示してください。図書自動貸出返却装置(ABC)は使用できません。

図 書	学 生	貸出冊数 7冊まで	貸出期間 20日以内
	教職員	貸出冊数 10冊まで	貸出期間 30日以内
視聴覚資料	学生・教職員とも 貸出点数3点まで 貸出期間3日以内		

借りたい資料が貸出中の場合は、貸出の予約ができます。館内の蔵書検索用端末(OPAC)や図書館HPから予約できます。

[返却]

返却する図書をカウンターまでお持ちください。図書自動貸出返却装置(ABC)を自分で操作し返却することもできます。特別開館時間帯は、図書館の玄関前に返却ポストがありますので、こちらに図書を入れてください。視聴覚資料は職員がいる通常開館時間に、直接カウンターへ返却してください。

学内の図書・雑誌を探す

図書館の各階に2台ずつある検索用端末や、図書館の外からも、図書館HP (<http://www.lib.tut.ac.jp>)の「蔵書検索」(OPAC)のページから、学内にある図書・雑誌を調べることができます。また、これ以外に雑誌には電子ジャーナルがあります。こちらはOPACからは検索できません。利用できる電子ジャーナルの雑誌名は、図書館HPの「電子ジャーナル」のページをご覧ください。

*電子ジャーナル・・・インターネットを通じて見ることができる雑誌です。電子ジャーナルは、図書館HPを通じて学内から利用できます。

[OPACの検索結果例(図書)]

「蔵書検索」のページから検索をすると、学内にある図書については、図書のある場所が表示されます。

例：書名「大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方」

所在・・・資料のある場所

所在：図・3F開架

請求記号：816.5IYO

請求記号・・・図書の背についている番号
右の例では、「大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方」の図書は、図書館の3階開架書架の、請求記号816.5IYOにあることが表示されています。

図書は、3階開架・1階参考などの所在ごとに請求記号順に並んでいます。

所在はほかに、

図・1F参考・・・図書館の1階参考図書コーナーにあります。

研・〇〇・・・教員研究室にあります。などがあります。

[操作方法ヘルプ](#) / [検索](#) / [最新の検索結果へ](#) / [本人利用状況へ](#) / [トップページ](#)

図書目録情報

書誌

- 書名 大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方
- 著者名 吉田雄正著
- 出版 京都：ナカニシヤ出版, 1997.5
- 刊年 1997
- 形態 143p：21cm
- 別書名 レポート・論文の書き方
大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方
- 出版国 日本
- 原題言語 日本語 (jpn)
- 本文言語 日本語 (jpn)
- 著者情報 吉田, 雄正(1941-) (ヨシダ, ケンセイ)
- 分類 NDC8: 816.5
NDC9: 816.5
- 件名 論文作法
論文作法
- 番号 NCID: BA31015811
ISBN: 4888483787

所蔵

番号	刊年	所在	請求記号	資料ID	状況(返却予定日)
1	2001	図・3F開架	816.5IYO	01002563	

[操作方法ヘルプ](#) / [検索](#) / [最新の検索結果へ](#) / [本人利用状況へ](#) / [トップページ](#)

資料のある場所について

1階には、貸出できない禁帯出の辞書、ハンドブックなどの参考図書、年鑑・白書があります。

2階には、最新号の雑誌と、それ以前の雑誌があります。雑誌は館内利用のみです。

3階には、貸出できる図書と、岩波文庫などの文庫本や、岩波新書、講談社現代新書、中央公論新書、ブルーバックスなどの新書があります。

情報を検索する

J Dream(JST固定料金サービス)、Swets Wise、CAonCD(Cheical AbstractsのCD-ROM版)などの文献データベースが利用できます。図書館1階のCD-ROM端末のみで利用できるもの、図書館HPを通じて研究室からも利用できるものや、Powder Diffraction File(粉末X線回折データ)、聞蔵DNA for Libraries(朝日新聞記事データベース)などがあります。詳しくは、図書館HPの「文献情報検索」のページをご覧ください。

館内案内

☞ カウンター (1階)

本の貸出、返却、図書館利用についての相談などを行っています。

☞ レファレンスデスク (1階)

資料の検索についての相談や、資料の探し方、文献の取り寄せなどについて相談できます。

☞ パソコンコーナー (1・2階)

1階と2階にWindowsパソコンがあります。こちらのパソコンは24時間自由に利用できます。

☞ 視聴覚資料コーナー (1階)

CD、ビデオテープ、カセットテープ、DVDがあります。

☞ ラウンジ (1階入口)

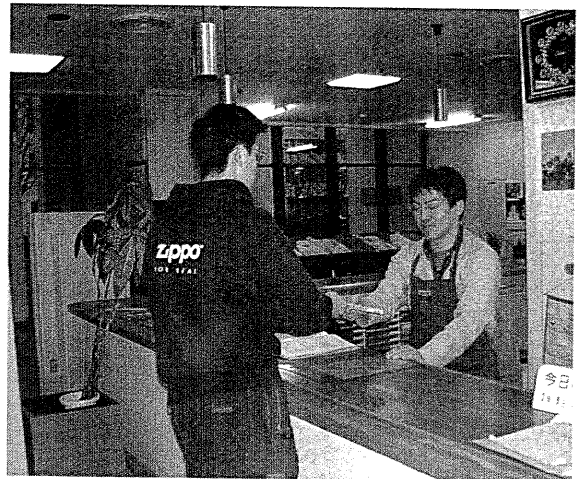
朝日、中日、毎日、読売、中日スポーツ、日本経済、東愛知、東日、日刊工業、The Japan Times、Times、Herald Tribune、Guardian Weeklyなどの新聞があります。また、雑誌を読むことができます。

☞ CD-ROM検索用端末 (1階)

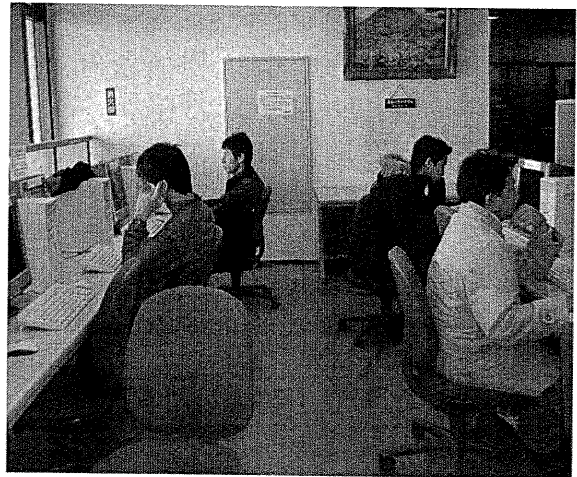
CD-ROM用端末が2台、Powder Diffraction File(粉末X線回折データ)用端末が1台、CA on CD用端末が1台あります。

☞ コイン式コピー機 (1階)

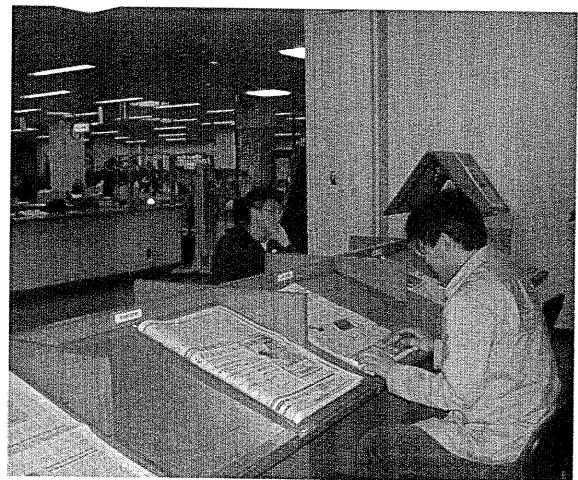
図書館の資料をコピーできます。他に、1・2階のカード式コピー機(校費のみ)があります。コピーする際はコピー機の横にある文献複写申込書に必要事項を記入し、指定のボックスに入れるかカウンターまでお持ちください。



カウンター



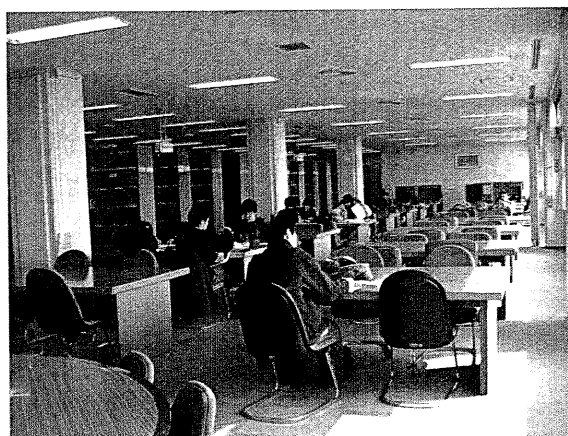
パソコンコーナー(2階)



新聞コーナー

雑誌閲覧室 (2階)

その年のものが、アルファベット順に新着雑誌架にあります。過去のものは、製本されて、和雑誌は、2階パソコンコーナー横の集密書架に、洋雑誌は、2階開架書架にあります。1983年以前のは、和雑誌、洋雑誌とも3階集密書架にあります。



閲覧室(2階)

グループ研究室、小グループ研究室(2・3階)

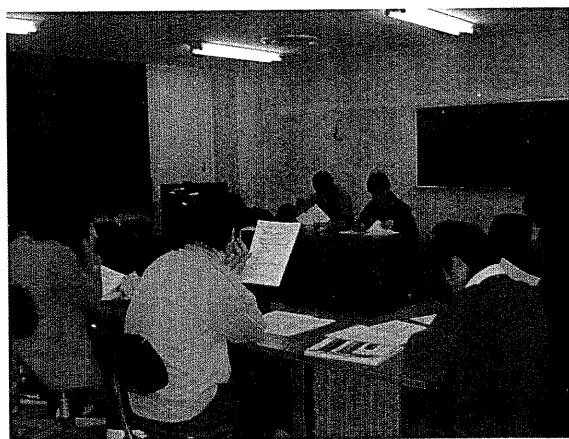
グループで部屋を借りることができます。カウンターにお申し込みください。

一般図書閲覧室 (3階)

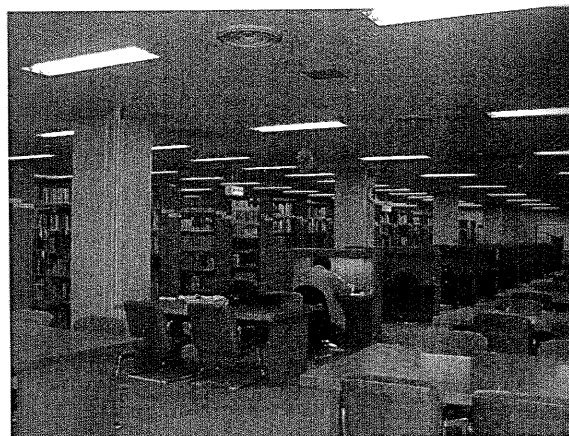
一般図書、教養図書、新書、文庫などが配架されています。

視聴覚室、視聴覚個室 (3階)

TV、CDプレーヤー、ビデオ、DVDプレーヤーを利用できます。カウンターにお申し込みください。



グループ研究室(2階)



一般図書閲覧室(3階)

守りましょう

館内は喫煙・飲食禁止です。

携帯電話の電源を切り、通話もしないでください。

館内では、私語を慎み、他の利用者の迷惑にならないよう、静かに利用してください。

電子ジャーナルを活用しよう！

情報図書課

昨今、図書館の電子化、情報化等の電子的機能の充実は、研究や学習の支援に資する上で、大変重要なものとなっております。

電子化の代表的なものに学術雑誌の電子化があります。電子ジャーナル又はonline journalと呼ばれているもので、この学術雑誌の電子ジャーナル化は、ますます拡充の傾向にあり、その果たす役割も大きなものとなっております。これを知って、有効に活用するかしないかで、学習・研究上の効率がかなり違ってくることは、想像に難くありません。

そこで、今回は、電子ジャーナルについて、その特徴や本学で導入している電子ジャーナル、その利用方法や注意事項について説明します。

◆電子ジャーナルって何？その特徴は？

- ・学術雑誌の全文が電子化されたもので、インターネットに接続したパソコンから24時間利用できる。
- ・冊子体より早く、内容を閲覧することや、印刷することができる。
- ・タイトルや著者名などから論文を検索すること等もできる。
- ・リンクがあるものについては、その場で引用文献まで参照できる。

◆利用するのに必要なもの

- ・学内LANに接続されたパソコン
- ・Internet Explorer やNetscape などのWWWブラウザ
- ・PDFファイル閲覧ソフト

◆本学で利用できる電子ジャーナル

本学で利用できる電子ジャーナルには下記のものがあります。冊子体を購入していない雑誌も多数見ることができます。

- ・ScienceDirect 約1000誌
- ・SpringerLINK 約450誌
- ・Kluwer Online 約650誌
- ・Wiley InterScience 約350誌
- ・ACM Digital Library 雑誌約80誌 会議録約200タイトル

◆利用方法

これらの電子ジャーナルは、いずれも本学附属図書館のホームページから利用できます。

1. 本学附属図書館のホームページ<http://www.lib.tut.ac.jp/>にアクセスする。
2. コンテンツの中から、電子ジャーナルを選ぶ。
3. 本学で利用できる電子ジャーナルの画面が現れる。

電子ジャーナルのアルファベット順リスト、コンソーシアム契約の電子ジャーナル、出版社別、無料の電子ジャーナル等に区別して掲載してありますので、該当するものを選んで、見たい雑誌や論文にアクセスしてください。

なお、電子ジャーナルには、冊子体にはない検索機能やアラート機能とあって、登録しておくことにより、登録したキーワードを含む論文が出たとき、メールで自分のところへお知らせがきたり、雑誌の目次を受けとったりできる便利なサービスがあります。

以上が、電子ジャーナルについての概要です。利用方法や機能の使い方等についてわからないときは、学術情報係へお尋ねください。4月には電子ジャーナルについてのガイダンスも実施しますので、詳しくは同係へ問い合わせをしてください。

習うより慣れろという言葉がありますが、電子ジャーナルについてもまさにそのとおりで、何度も使ううちに自分のものにできるようです。

◆利用上の注意

最後に、非常に重要な利用上の注意について述べます。

電子ジャーナルは、ネットワークに接続された学内のパソコンからなら、いつでも、どこでも利用することができるという大変便利なものです。このような便利なサービスも、その使い方によって、利用条件を逸脱した不正使用として厳しいペナルティが課せられます。その利用条件とは、以下のようなものです。

- ・短時間での大量のダウンロードは禁止されています。
- ・ダウンロードした論文は、個人の学術研究・教育以外の目的に使用できません。
- ・ダウンロードした論文の複製・再配布は禁止されています。
- ・ジャーナルの大部分をダウンロードしてストックするなどの行為は、著作権の侵害となり、不正使用となります。

以上のような不正使用が発覚すると、直ちにアクセス制限を受け、原因調査と報告、再発防止を求める警告文書が送られてきます。このような事態になることは、大学全体の教育・研究に大きく影響を与えるものとなります。この重大さをしっかり受け止め、快適に電子ジャーナルを利用することができるよう心がけたいものです。

皆さん！ 図書館の電子的機能を利用上の注意事項を遵守しながら大いに活用し、学習・研究に役立てましょう！

平成16年度図書館利用に関するアンケート結果

情報図書課

附属図書館では、法人化後の中期計画において学術情報基盤としての図書館機能の強化を図ることを目的とし、16年度年度計画に図書館の利用者サービスや施設・設備の整備について調査を行うことが掲げられています。

それに伴い、利用者から見た図書館の現状を明らかにするとともに分析し、17年度以降の年度計画に反映させ、より一層の図書館サービスの向上を図るため、昨年9月に、来館者を対象とした利用者アンケートを実施しました。

アンケートにご協力をいただいた利用者の方々にはこの場を借りてお礼を申し上げるとともに、集計結果について報告いたします。

また、各ご意見についての改善策や改善結果につきましては、図書館のホームページや館内掲示板において逐次報告する予定です。

1. 実施日時： 平成16年9月14日（火）～15日（水）9時00分～17時30分
2. 対 象： 上記期間の図書館入館者
3. 実施場所： 図書館玄関
4. 実施方法： アンケート用紙配布による記入方式

【1】アンケート回答者数

①学部学生	320人（74.0%）
②大学院修士	69人（16.0%）
③大学院博士	9人（2.1%）
④教職員	31人（7.2%）
⑤その他	3人（0.7%）
計	432人（100.0%）

【2】利用頻度

	学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1 ほとんど毎日	67	15	0	6	0	88	20.4
2 週に数回程度	47	32	4	6	2	91	21.1
3 月に数回程度	204	20	4	14	1	243	56.2
4 年に数回程度	1	2	1	5	0	9	2.1
5 試験期間のみ	1	0	0	0	0	1	0.2
計	320	69	9	31	3	432	100.0

【3】利用目的（複数回答可）

	学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1 図書館資料の閲覧,貸出等閲覧	236	56	7	21	2	322	74.5
2 席での学習	174	17	12	1	0	193	44.7

3	文献複写の依頼	13	20	5	6	1	45	10.4
4	文献検索(学内LANを含む)	46	17	2	6	1	72	16.7
5	文献等のコピー	41	26	4	13	1	85	19.7
6	CD-ROM検索	1	0	1	1	1	4	0.9
7	パソコンの利用	113	6	0	0	0	119	27.5
8	インターネット	143	8	0	1	0	152	35.2
9	新聞を読む	101	30	0	5	3	139	32.2
10	グループ研究室等の施設利用	25	1	1	0	0	27	6.3
11	休息	75	8	0	1	1	85	19.7
12	その他	3	2	0	5	1	11	2.5
計		971	191	21	60	11	1,254	

【4】図書館のホームページの利用状況を教えてください

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	よく利用する	20	13	2	8	0	43	10.0
2	時々利用する	124	38	6	13	2	183	42.3
3	利用しない	174	18	1	9	1	203	47.0
4	無回答	2	0	0	1	0	3	0.7
計		320	69	9	31	3	432	100.0

【5】電子的資料の中で、よく利用するものについて教えてください(複数回答可)

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	CAonCD	1	5	1	2	1	10	2.3
2	JDream	20	22	2	6	0	50	11.6
3	SwetsWise	2	3	2	0	0	7	1.6
4	Powder Diffraction File	0	1	0	2	0	3	0.7
5	NACISIS-IR	2	1	0	1	0	4	0.9
6	NACISIS-ELS	0	5	1	1	0	7	1.6
7	電子ジャーナル	11	22	5	11	0	49	11.3
8	OPAC	35	9	3	6	0	53	12.3
9	その他	0	0	0	0	0	0	0.0
10	特になし	224	14	1	15	1	255	59.0
計		295	82	15	44	2	438	

【6】導入してほしい電子ジャーナル、データベースがありましたら教えてください

電子ジャーナル・データベースタイトル	身分	人数
Lab on a chip	学部	1
IEEE Trans on Applied Superconductivity	修士	2
Journal of American Chemical Society	修士	1
Journal of Organic Chemistry	修士	1
Journal of Computer Chemistry	修士	1

IEEE All Series	修 士	1
日本語を勉強するジャーナル	修 士	1
Analytical Chemistry	博 士	1
Physical Chemistry Chemical Physics	教職員	1
METADEX	教職員	1
Lecture Notes in Computer Science Series	教職員	1
Nature Online	教職員	1

【7】 図書館の資料、設備、施設等に関し、どのように思われているか教えてください

1. 図書

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	満足	48	12	0	5	1	66	15.3
2	やや満足	90	20	4	7	1	122	28.2
3	ふつう	102	21	2	9	1	135	31.3
4	やや不満足	52	13	2	6	0	73	16.9
5	不満足	13	2	1	1	0	17	3.9
6	無回答	15	1	0	3	0	19	4.4
	計	320	69	9	31	3	432	100.0

*主な意見 (Q13 その他の意見の内、関連する意見も含めました)

- ・ 図書が古い、新しい図書を入れて欲しい (10人)
- ・ 一般書や文学書、ベストセラーを入れて欲しい (10人)
- ・ 語学学習図書や専門書を充実して欲しい (9人)
- ・ 図書が少ない (4人)
- ・ 希望図書の購入に於いて金額に上限があるのをやめて欲しい
- ・ 貸出不可の図書を借りられるようにして欲しい

2. 雑誌

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	満足	39	7	1	7	1	55	12.7
2	やや満足	61	11	5	4	0	81	18.8
3	ふつう	95	26	1	13	1	136	31.5
4	やや不満足	98	21	2	3	1	125	28.9
5	不満足	19	1	0	1	0	21	4.9
6	無回答	8	3	0	3	0	14	3.2
	計	320	69	9	31	3	432	100.0

*主な意見 (Q13 その他の意見の内、関連する意見も含めました)

- ・ 雑誌を増やして欲しい (3人)
- ・ 一般雑誌 (ファッション雑誌、音楽雑誌等) を増やして欲しい (4人)
- ・ 学術雑誌・学会誌を充実して欲しい (2人)
- ・ 新聞を増やして欲しい (2人)

- ・入口近くの雑誌を館内に持ち込めるようにしてほしい
- ・古い専門学術雑誌が、必要なときに無いことがある
- ・どの雑誌を置くかを皆の意見で決めてほしい

3. 視聴覚

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	満足	20	7	1	3	1	32	7.4
2	やや満足	21	6	1	4	0	32	7.4
3	ふつう	226	41	5	17	2	291	67.4
4	やや不満足	31	5	1	1	0	38	8.8
5	不満足	6	1	0	0	0	7	1.6
6	無回答	16	9	1	6	0	32	7.4
計		320	69	9	31	3	432	100.0

*主な意見 (Q13 その他の意見の内、関連する意見も含めました)

- ・DVDの種類が少ない
- ・昔の名画を取りそろえてほしい
- ・見逃したテレビ映画やテレビ番組が図書館のDVDにあるとうれしい
- ・視聴覚資料を貸出して欲しい、さもなくば時間外の視聴覚室の利用を可能にして欲しい
- ・DVDは中身がケースに入っていたほうが使いやすい
- ・視聴覚を多く

4. パソコン設備

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	満足	26	9	1	2	1	39	9.0
2	やや満足	68	10	0	2	0	80	18.5
3	ふつう	119	33	6	18	2	178	41.2
4	やや不満足	81	10	1	3	0	95	22.0
5	不満足	19	4	1	0	0	24	5.6
6	無回答	7	3	0	6	0	16	3.7
計		320	69	9	31	3	432	100.0

*主な意見 (Q13 その他の意見の内、関連する意見も含めました)

- ・パソコン・プリンターを新しくして欲しい (6人)
- ・パソコン・プリンターを増やして欲しい (3人)
- ・プリンターが使えないことがある (4人)
- ・カラープリンターを設置して欲しい

5. 情報コンセント

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	満足	20	3	1	1	1	26	6.0
2	やや満足	46	8	0	3	0	57	13.2
3	ふつう	167	43	6	21	2	239	55.3

4	やや不満足	52	8	1	1	0	62	14.4
5	不満足	19	3	0	0	0	22	5.1
6	無回答	16	4	1	5	0	26	6.0
計		320	69	9	31	3	432	100.0

* 主な意見 (Q13 その他の意見の内、関連する意見も含めました)

- ・ 情報コンセントを増やして欲しい (8人)
- ・ 無線LANを導入して欲しい (2人)
- ・ LANをDHCP接続できれば設定が楽になる
- ・ 平日と日曜日と土曜日は、インターネットの時間を延ばしてほしい

6. 電子的資料 (電子ジャーナル)

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	満足	23	7	1	3	1	35	8.1
2	やや満足	29	18	2	4	0	53	12.3
3	ふつう	236	37	4	14	2	293	67.8
4	やや不満足	6	3	1	3	0	13	3.0
5	不満足	2	1	1	0	0	4	0.9
6	無回答	24	3	0	7	0	34	7.9
計		320	69	9	31	3	432	100.0

* 主な意見

- ・ 電子情報等の案内があまりない

7. 電子的資料 (二次資料)

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	満足	20	6	1	2	1	30	6.9
2	やや満足	24	11	2	2	0	39	9.0
3	ふつう	248	44	4	18	2	316	73.2
4	やや不満足	3	1	1	2	0	7	1.6
5	不満足	2	1	0	0	0	3	0.7
6	無回答	23	6	1	7	0	37	8.6
計		320	69	9	31	3	432	100.0

8. グループ研究室等の施設

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	満足	23	10	1	2	1	37	8.6
2	やや満足	47	4	2	2	0	55	12.7
3	ふつう	211	43	3	20	2	279	64.6
4	やや不満足	16	3	1	1	0	21	4.9
5	不満足	2	2	0	0	0	4	0.9
6	無回答	21	7	2	6	0	36	8.3
計		320	69	9	31	3	432	100.0

9. 館内照明

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	満足	55	14	2	7	1	79	18.3
2	やや満足	48	12	3	3	0	66	15.3
3	ふつう	170	36	4	19	2	231	53.4
4	やや不満足	29	4	0	0	0	33	7.6
5	不満足	7	1	0	0	0	8	1.9
6	無回答	11	2	0	2	0	15	3.5
計		320	69	9	31	3	432	100.0

*主な意見 (Q13 その他の意見の内、関連する意見も含めました)

- ・館内や閲覧席の照明が暗い (4人)
- ・夜、雑誌区域の照明をつけてほしい

【8】図書館の資料、設備、施設等に関しご意見があれば、ご記入ください

- ・試験期間中や時間外開館中も空調を入れて欲しい (14人)
- ・飲食コーナー・喫煙コーナーを設置して欲しい (2人)
- ・図書館の端末から語学センター資料の検索が出来るようにして欲しい
- ・図書の貸出を開館中いつも出来るようにして欲しい
- ・本の索引などに載っている用語からも、本を検索できるようにしてほしい
- ・資料の電子化を行う
- ・市立図書館との連携を強化すべきだ
- ・閲覧席の椅子で座り心地の悪いものがある
- ・入り口のゲート数を増やして欲しい
- ・満足しています
- ・時間が24時間だからうれしい

【9】文献情報ガイダンスに参加したことがあるか教えてください

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	ある	98	34	5	4	1	142	32.9
2	ない	216	32	4	25	2	279	64.6
3	無回答	6	3	0	2	0	11	2.5
計		320	69	9	31	3	432	100.0

【10】参加した結果はどうでしたか教えてください

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	ためになった	37	10	2	3	1	53	37.6
2	少しためになった	58	24	2	1	0	85	60.3
3	ためにならなかった	3	0	0	0	0	3	2.1
計		98	34	4	4	1	141	100.0

【11】文献情報ガイダンスについて、ご意見、ご要望がありましたらご記入ください

- ・役に立っています ありがとう
- ・声が小さく非常に聞き取りづらかった
- ・時間が長いのでもう少しはしょっても良いと思います
- ・ガイダンスという形でなく、利用手引きを配布するだけで十分であると思う
- ・やっていけないことを教えるべき
- ・いつ行われたのか知らなかったので、年に数回行くと良いと思う
- ・時期をもっと早くできないものでしょうか特に新生生に対しては入学直後に一通り受けてもらう形をとっても良いかと思います
- ・入学時は研究室配属等に関係ないB3がほとんどだと思いますが、彼らも3月まではそういうことをやっているわけですから知らせておいて損は無いと思います
- ・ Good, but I would wish more people can speak English.
- ・ 英語ガイダンスが年2回くらい必要だと思います

【12】図書館員の対応（サービス）についてどう思われているか教えてください

		学部	修士	博士	教職員	その他	計	%
1	よい	62	29	3	16	2	112	26.0
2	ふつう	237	36	6	13	1	293	67.8
3	よくない	13	4	0	0	0	17	3.9
4	無回答	8	0	0	2	0	10	2.3
	計	320	69	9	31	3	432	100.0

*主な意見（Q13その他の意見の内、関連する意見も含めました）

（よい）

- ・対応が非常に親切、優しい (9人)
- ・丁寧に対応してくれる (7人)
- ・早く対応してくれる (3人)
- ・質問にきちんと答えてくれる (4人)
- ・不満がない (2人)
- ・良く話を聞いてくれるから
- ・いやな感じがしない、接客がよい
- ・きちんとカウンターにいること
- ・常に何か仕事をしているように見えること
- ・必要なことは、そつなく行われているように感じる
- ・ Friendly and helpful

（ふつう）

- ・可もなく不可もなく (12人)
- ・あまり利用しないから (4人)
- ・あまり関わりがないから (2人)
- ・カウンターに人がいないことがある (5人)

（よくない）

- ・対応が無愛想、不親切 (4人)

- ・対応が悪い、冷たい (3人)
- ・こわい対応をする (3人)
- ・態度が悪い (2人)
- ・態度がふてぶてしい (2人)
- ・不機嫌な態度をとる
- ・人によって態度を変える
- ・お役所的すぎる
- ・無自覚、やる気がない

【13】図書館に関し、その他ご意見、ご要望がありましたらご記入ください

(24時間開館)

- ・24時間使えるのはすばらしい
- ・24時間使えるというのは、うれしいので、今後も続けてください
- ・時間外利用の際、時間外入口付近が相変わらず荒れている

(図書館利用・設備)

- ・1回目に来たときに目的のものがなかったり、先生が持っていることが多すぎて、利用する気がおきなくなった
- ・多少図書館に入る際にカードを使用しなければならないのがめんどうですが、セキュリティのためには仕方のないことですし、他には特に問題はないです
- ・コピー機の近くにロータリーカッターをおいてほしい
- ・文献のインデックス等、文献が探しやすく助かります
- ・もう少し書架がきれいに整理されていれば使う気になりました
- ・勉強に集中できるし、資料は多いし、24時間使えるしとっても良いところだと思います

(利用マナー)

- ・図書館内でのマナーをもう少し徹底させてほしい 特に私語
- ・ケータイの使用禁止を徹底してください
- ・テスト期間、館内がうるさいことが多いのが気になる
- ・ほとんど昼休みの時間帯だけのことだけど一部の集団(2~4人ぐらい)がうるさいと思うときがあるそれ以外の時間帯では、ほぼ静かで快適に利用しています
- ・マナーの悪い利用者への注意を厳しくしてください

(その他)

- ・先日、先輩の方が見学で入館されるのを見ました市民も借りられるのもっと宣伝したらどうでしょうか たとえば市の広報等
- ・一般の人は時間外利用できないみたいですが、利用できるようにはしないのですか
- ・現状を維持して欲しい

“ΑΛΗΘΕΙΑ”

図書館の入り口の壁に掲げられている
銘板のギリシャ文字 “ΑΛΗΘΕΙΑ”
(アレーテΙΑ) は、「真理」を意味しま
す。

表紙デザイン

表紙のデザインは、野澤隆秀氏(本学卒
業生・元建設工学系助手)によるものです。

豊橋技術科学大学附属図書館報「ΑΛΗΘΕΙΑ」第28号 平成17年4月1日

■編集・発行 豊橋技術科学大学教務部情報図書課

■〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 TEL. 0532-44-6562

FAX. 0532-44-6566